



目次

概要	1
背景	1
感想・分析	2
(1) 広い安全保障の概念	2
(2) 新宇宙機関の興隆	2
(3) 欧州一体感の醸成	2
ちよつと言	2

概要

2020年1月21日(火)と22日(水)の2日間、ベルギー・ブリュッセルのエグモン宮で第12回 European Space Conference が開催された。この会議は欧州議会、欧州委員会(EC)、欧州宇宙機関(ESA)、および EUROSPACE(欧州宇宙産業団体)が主催するもので、毎年開催されていて今年が12回目である。主に欧州の各政府、宇宙機関の官を中心とし、全体で1000人程度の参加者であった。



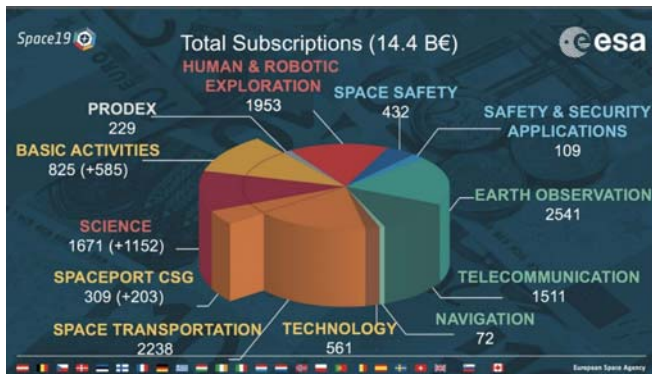
背景

2016年末にECは「欧州宇宙政策」(Space Strategy for Europe)を発表しており、ESAはその直後から作業を開始し周到に準備してきた長期計画がSpace19+である。Space19+は2019年の11月にESA参加22か国の大臣級が出席する会議で承認された。Space19+では今後ESAにとって以下の重要な4本の柱を規定している。

- 科学と探査：科学ミッションや有人活動
- アプリケーション：地球科学、測位、通信
- 実現のための支援：打上機、地上設備などの基盤

- 宇宙安全保障：宇宙天気、宇宙防衛、デブリ、さらにはサイバーセキュリティを含む

Space19+に対応する予算として、今後 5 年間の必須の金額として 14.4 B Euro、また今後 3 年間の予算として 12.5 B Euro が承認された。この額は 2016 年当時から比べ、1.8 B Euro の増加となっている。



ESA の Space19+ に対する予算配分

筆者は欧州宇宙政策が発表された直後の 2017 年の第 9 回の際にも本会議に出席したが、今回は 2 回目として Space19+ 承認後の欧州の宇宙活動の状況を知るべく参加した。

感想・分析

- (1) 広い安全保障の概念
- (2) 新宇宙機関の興隆
- (3) 欧州一体感の醸成

<以下省略>

ちょっと一言

ベルギーといえばビール。暗くて寒い冬の夜にふさわしいのは清涼飲料水としてのビールではなく、ちびちびするように飲むベルギービールである。そしてそこに合わせる地元の料理として、居酒屋で勧められたのがミートボール。大きなミートボールがごろっと 2 ヶ、さらっとさわやかなトマトソースが掛かって出てくる。



本報告書へのお問い合わせは：



株式会社 サテライト・ビジネス・ネットワーク

<http://sat-biznet.com>

葛岡 成樹

E-mail: shigeki-kuzuoka@sat-biznet.com



ユーロコンサル日本事務所

<http://www.euroconsult-ec.com>

葛岡 成樹

E-mail: shigeki.kuzuoka@euroconsult-jp.com